

令和6年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理公民	地理総合	2	2	2年生
使用教科書		副教材等		
高等学校 新地理総合 新詳高等地理		新詳地理資料 COMPLETE 2024 新課程版 サクシード地理		

科目の目標

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の認識や理解、関係や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて模索したりする力や、考察、模索したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に捉え、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国士に対する愛敬、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその進捗

① 知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的な事例や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見つけだし、それを系統地理的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
③ 主体的に学習に取り組む態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

評価方法

記述の作成、確認、分析
行動の観察、確認、分析
(定額テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物などの取り組み状況、授業への取組状況 等)

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム	地球上の位置と時差	緯度経度、時差の仕組みについて理解している。	○		
			緯度・経度・時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
		地図の役割と種類	統計地図の作成を通して、統計の編纂の方法、正しい統計地図の選択、統計地図作成に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。		○	○
			地理情報システム (GIS) のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。	○		
第2章 結び付きを深める現代世界	現代世界の国家と領域		GISを通して、地域の課題を多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
			国境紛争の事例を通じて、国境、国家の領域の画定における要素を多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
			世界の視野から見た日本の位置と領域、線形的経済水域の特徴を踏まえ、日本の領土問題について多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
		グローバル化する世界	経済のグローバル化の中での貿易体制・国家 (地域) 間のつながりの変化を理解している。		○	○
			交通・通信の発達が経済のグローバル化に与えた様々な影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
5	国際理解と国際協力 第1章 世界の地形と人々の生活 第1章 生活文化の多様性と国際理解	変動帯と人々の生活 大地形と人々の生活 安定地域と人々の生活			○	○
		河川がつくる地形と人々の生活	それぞれの地形の形成されるメカニズム・特徴を理解している。また、地形がもたらす人々の生活への恵みと脅威について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
		海岸の地形と人々の生活				
		先河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活				
6	第2章 世界の気候と人々の生活	気候・降水と人々の生活	気候・気候と人々の生活の関連について理解している。		○	
		大気大循環と人々の生活	大気の大循環により、雨季と乾季、夏季乾季の気候や、異常気象が発生していることを理解している。		○	
		世界の誕生と気候区分	気候区分が誕生との関連で分類されていることを理解している。		○	
		熱帯の生活 乾燥帯の生活 温帯の生活 冷帯・寒帯の生活	各気候の形成されるメカニズム、特徴を理解している。また、気候とそ地域の産業、生活がどのように関わっているかを多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
第3章 世界の言語・宗教と人々の生活 第4章 歴史的背景と人々の生活	世界の言語と人々の生活文化	言語 (語族・語派)、宗教の特徴と分布について理解している。		○		
		世界の宗教と人々の生活文化	言語や宗教と人々の生活との関わりについて多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
		歴史的背景が人々の生活に与える影響	地理的事象の人文地理的要因には、歴史的背景が密接に関わっていることを理解している。		○	○
		移民の歴史と人々の生活の関わり				
10	第5章 世界の産業と人々の生活	植民地支配の歴史と人々の生活の関わり	地域の産業、社会構造について環境決定論にとどまらず様々な歴史的背景に着目して多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
		国家体制の変化と人々の生活の関わり				
		人々の生活を支える農業の発展				
		人々の生活を支える工業の発展				
第3章 資源・エネルギー問題	世界のエネルギー・鉱山資源	グローバル化する現代の産業と人々の生活	産業そのものの発展について及び、各地域における産業の時空間的変化とその背景について多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
		産業力が世界の生活文化に与える影響				
		経済成長による人々の生活の変化				
		地域統合が人々の生活や産業に与える影響				
11	第2章 地球的環境と国際協力 第1章 環境に絡み合う地球環境問題 第2章 地球環境問題	相互に関連する地球環境問題とその解決に向けて	持続可能な社会を実現させるために、どのような取り組みが必要か、主体的に探究しようとしている。			○
		多様な地球環境問題	環境問題の発生している地域分布について理解し、その背景について多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
		熱帯林の破壊への対策				
		地球温暖化への対策	地球温暖化の解決に向けた取り組みについて理解している。		○	○
第3章 資源・エネルギー問題	世界のエネルギー・鉱山資源	様々なエネルギー資源・鉱山資源の存在、分布を理解し、既習内容との関係性について多面的・多角的に考察し、表現している。		○		○
		エネルギー利用の現状と課題	各地域が抱えるエネルギー利用に関する課題について理解し、それに対する取り組みについて具体例をもとに主体的に探究しようとしている。		○	○
		地域で真なるエネルギー問題への取り組み				
		世界の人口	人口分布の地域差や、出生率、死亡率の地域差について理解している。		○	
第4章 人口問題	世界の人口	発展途上国と先進国の人口問題	問題の地域差の背景と、そこから起きるさらなる問題について多面的・多角的に考察し、表現している。		○	
		地域で真なる人口問題への取り組み	地域によって異なる取り組みの背景を人口動態から考察し、表現している。		○	○
		地域と飽食	飢饉・飽食が起きている地域の分布を理解している。		○	○
		地域で真なる食料問題への取り組み	食料問題の解決に向けて、主体的に探究しようとしている。		○	○
第5章 食料問題	世界の都市の発達	世界の都市の発達	都市の分布・内部構造について理解している。			
		発展途上国と先進国の都市・居住問題	途上国と先進国で都市問題が異なる理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。			
		地域で真なる都市・居住問題への取り組み	地域によって異なる取り組みの背景を都市問題の違いから考察し、表現している。		○	○
		持続可能な地域づくりと防災				
第1章 自然環境と防災	日本の地形	日本の地形	日本の地形・気候の地域差について理解している。また、地形・気候の地域差が起きている理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○		○
		日本の気候				
		地震・津波による災害				
		地震・津波の被災地の取り組み	地震及び火山の分布と地形との関係性について理解しており、それらが人々の生活にもたらす恵みと脅威について多面的・多角的に考察し、表現している。また、それらに対する取り組みについて理解している。		○	○
第2章 生活圏の調査と地域の調査	被災地への支援	火山の恵みと災害				
		火山と共生する地域の取り組み				
		様々な気象災害	災害の地域差と環境、都市化などとの関係を多面的・多角的に考察し表現している。		○	
		気象災害への取り組み	地域の自然環境、都市化の状況に合わせた取り組みについて、主体的に探究しようとしている。			○
第2章 生活圏の調査と地域の調査	被災地への支援	被災への取り組み	減災、防災についての取り組みについて理解している。	○		
		被災地への支援	ハザードマップを用いて、地域の災害に対する脆弱性、避難箇所などについて理解している。		○	
		地理的な課題と地域調査	地域の地理的課題を多面的・多角的に考察し表現している。		○	
		現地調査の準備	準備、現地調査の方法、分析及び発表の方法について理解している。		○	
第2章 生活圏の調査と地域の調査	被災地への支援	現地調査の実施				
		調査の分析と発表	地理的課題に対して問いを立て、主体的に探究しようとしている。		○	○

令和6年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	日本史探究	2	2年	文系c 選択

使用教科書	副教材等
詳説日本史（山川出版社）	新詳日本史（浜島書店） 新日本史史料集成（第一学習社） ゼミナール日本史（浜島書店）

科目の目標

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
 - 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して洞察される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛憎、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。

評価方法

記述の点検、確認、分析 行動の観察、確認、分析
 （定期テスト、ワークシート、課題レポートその他提出物、授業への取組状況、グループワークや発表等への取組状況 等）

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第1部 原始・古代	1文化の始まり	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	○		○
	第1章 日本文化のあけぼの	2農耕社会の成立	・自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
5	第2章 古墳とヤマト政権	1古墳文化の展開	・黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を認識する関いを表現している。		○	○
		2飛鳥の朝廷	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	○		○
6	第3章 律令国家の形成	1律令国家への道	歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。		○	○
		2平城京の時代	国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と縄文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	○		○
7		3律令国家の文化	中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。		○	○
9	第4章 貴族政治の展開	1摂関政治		○		○
		2国風文化	貴族政治の展開、平安朝の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。		○	○
11	第Ⅱ部 中世	3地方政治の展開と武士	地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。		○	○
	第5章 院政と武士の躍進	1院政の始まり	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。	○		○
12		2院政と平氏政権	権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○
			時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を認識する関いを表現している。	○		○
1	第6章 武家政権の成立	1鎌倉幕府の成立	中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。		○	○
		2武士の社会	歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	○		○
1	第7章 武家社会の成長	3モンゴル襲来と幕府の衰退	武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、社会や文化の特色を理解している。		○	○
		4鎌倉文化	公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。		○	○
		1室町幕府の成立	武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。	○		○
		2幕府の衰退と庶民と台頭	社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性等を多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。		○	○
		3室町文化				
		4戦国大名の登場				

令和6年度 2年次 世界史探究シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
地理歴史	世界史探究	2	2	文系c 選択
使用教科書		副教材等		
世界史探究（実教出版）		世界史探究マイノート新課程版（実教出版） 新世界史研究ノート標準編（啓隆社） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）		
科目の目標				
① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	必修科目である「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	世界史を探究するための自分の学習状況を理解、把握している。
評価方法	
各種テスト 授業ノート・プリント類の記述 提出物の取り組み状況	

学習計画					評価の観点		
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標		①	②	③
4	第1章 古代文明	1 農耕と牧畜のはじまり 2 オリエント文明 3 インドス文明 4 中国文明	・オリエント文明、インドス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解させる。 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
5	第2章 東アジアと中央ユーラシア	1 春秋・戦国時代の変動 2 中国古代帝国と東アジア	・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解させる。 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
6		3 中央ユーラシアの国家形成 4 胡漢融合帝国の誕生			○	○	○
7	第3章 南アジアと東南アジア	1 インド古典文化の形成 2 古代の東南アジアと海のシルクロード	・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解させる。 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
9	第4章 西アジアと地中海周辺	1オリエントの統一 2 ギリシア文明 3 ヘレニズム時代	・西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解させる。 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
10		4 ローマ帝国 5 西アジアの国々と諸宗教			○	○	○
11	第5章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	1 ビザンツ帝国とギリシア正教圏 2 たらん＝カトリック圏の形成と展開 イスラーム圏の成立	・キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解させる。 ・西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
11	第6章 イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	1 イスラーム圏の多極化と展開 2 ラテン＝カトリック圏の拡大	・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
12		3 ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容			○	○	○
1	第7章 中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	1 中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 2 モンゴル帝国の成立	・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。		○	○	○
2		3 東南アジア諸国の再編 4 海域世界の展開と大交易圏の成立			○	○	○